がん化学療法レジメン

第1版	改訂日	

登録日	H33.8.12	実施区分	□ 入院のみ ■ 入院及び外来	初回入院	■ 必要
レジメン番号	骨髄腫(MM)−019	診療科名	血液内科		
レジメン名	【皮下注】DLd療法				
レジメン補足	ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼアルファ+レナリドミド+デキサメタゾン				
がん腫	多発性骨髄腫				

薬剤名	漏出	投与量	1(週)							2							3							4						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
ダラツムマブ (ダラキューロ)		1800mg	●							○							●							○						
レナリドミド (レブラミド)		25mg (内服)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
デキサメタゾン (レナデックス)		40mg/週 (※)	●							●							●							●						

1コース期間	28 日	目標コース数	□有 （ コース） ■無 （PDまで）
点滴時間			
注意事項など	infusion reaction予防のため、ダラツムマブ投与1～3時間前に副腎皮質ホルモンとアセトアミノフェン(650-1,000mg)、抗ヒスタミン剤を投与すること（モンテルカスト10mg経口投与も考慮する） （セット処方あり；入院注射オーダ→「セット」→「全科セット」→「血液内科用」→「ダラザレックス前投薬」） 《ダラツムマブの投与について》 1-2コース目はday 1, 8, 15, 22に、3-6コース目はday 1, 15に、7コース目以降はday 1のみに投与すること 7コース目以降は(MM-23)【皮下注】ダラツムマブ維持療法のレジメンに移行 《デキサメタゾンの投与について(※)》 内服もしくは静脈内投与を行う 週1回40mg/日投与（臨床試験ではダラキューロ投与日とその翌日に20mgずつ分割して投与） ★ダラツムマブ初回投与時は、輸血部（7204）に連絡すること		

Day 1, 8, 15, 22

《皮下注》

投与順序	投与薬剤名	投与量 単位	点滴時間 投与方法
①	ダラツムマブ	1800mg	皮下注

※ダラキューロは臍から左または右に約7.5cmの腹部皮下に、約3～5分かけて投与
※同一部位への反復注射は行わないこと